

号外

トキめき Welcome!

-新潟県の高校生のみなさんへ-

新潟県出身の学生体験記!

仲間と過ごした4年間

子ども発達学部 子ども発達学科 保育専修

4年 廣井 章乃



私にとって、大学生活の4年間は、長いようで短い時間でした。新潟から愛知に出てきて、初めての一人暮らしということもあり、生活できるのかと不安もありました。しかし、新たな環境の中での友達との出会いによって、気が付いたら大学生活最後の一年を迎えることとなり、環境を変えて良かったと感じています。

お昼ごはんは一人?

入学式の日、私は知り合いもいない中、友達ができるかすごく不安でした。式で出会って仲間にならなかった人は学部が違った為か、その後会えなくない?と声をかけられましたが、その人に会えるかと思っていたので断ってしまい、結局お昼を一人で食べることに!

しかし、たまたま座った席の隣に、先ほど説明会終わりに声をかけてきた人を含むグループがいたので、おもいきって声をかけてみると、彼女も覚えていて、一緒にご飯を食べることができました。

初めの出会いは変な感じでしたが、今では一緒に、ご飯を食べたり、旅行したりする関係も最初はこんなゆき違いから始まったのです。

自然に囲まれた環境の中で

大学の周りにはあまり遊ぶところがありませんが、ないからこそで友だちと話して過ご



中で一番印象に残っている企画で夜空を見る会というのがありました。「ふくろうの会」にも協力していただき、とても大きな天体望遠鏡で月や土星を眺めました。

この会にあたって、いつ、どこで、どのように、一からグループで計画しました。当日はよく晴れ、言葉にすることができないくらいにすばらしい夜空を見ることができたのです。この活動を通して自分から楽しんで仕事をする事によって周りの人も楽しませることができるといふこと、計画づくりの大切さなどを学ぶことができ、自分の成長に繋がることができたと感じます。

仲間とともにバレーボール部

他にも力を入れていることがあります。それはサークル活動です。一部バレーボール部に所

したり、図書館にある映画やドラマのDVDを鑑賞したり、パソコンでネットをするなど、講義の空きコマを大学で過ごすことができます。そして、大学の周りが山や畑などの自然に囲まれているので、落ち着いた雰囲気勉強することができ

これから進学を考えている高校生の方には是非、一度は大学を訪れてほしいと思います。私も、いくつかの大学をオープンキャンパスで訪れましたが、やはり、自分が実際に訪れて感じたことがすべてだと思うので、大学を選ぶときには、印刷された資料だけではなく、実際に自分の目で見て、耳で聞いて、感じたことを大切にしてほしいと思います。

(日本文理高校出身)



私の大学生活

社会福祉学部 社会福祉学科

2年 山保 冬香

社会福祉学部では福祉実践、医療福祉、地域福祉、福祉社会の4つのコースに分かれています。私は地域に住んでいる人達と福祉の関わりを学ぶ地域福祉コースに所属しています。座学では学べないような経験をすることができ、とても充実しています。

私はこの夏、頑張ったことがあります。それはサービスマーケティングの活動です。私は阿久比町を中心に活動するNPO団体で夏の6日間サービスマーケティング活動をしました。そこでは普段できないような体験をさせていただきました。企画した牛乳パックではがきをつくったり、ヘルパーの方に行き添わせていただいたり、長い竹をつかって流しそうめんをしました。このような活動の

(巻高校出身)



福祉系の学校は増えたけれど

我が国は知つての通り「少子高齢化」の真つただ中にあります。福祉の世界ではそのような社会の変化に対応するために「介護保険」が作られ、多くのホームヘルパー・介護福祉士・ケアマネジャーなどが専門学校や通信教育で養成され社会に送り出されてきました。

介護福祉士に比べ社会福祉士はその資格の性質が分かりづらく、今でも多くの社会福祉士の仕事は何なのか「問い」続けている人も少なくありません。

専門学校や大学は理念や学部構成などの特徴はもとより国家試験合格者数・国家試験合格率、就職内定率など様々なデータをもとに高校生のみなさんにアピールしています。ただ「数字」では読み取れない大切な要素があるように感じます。

そこで今福祉に関心を持っているみなさんに、今一度考えて欲しいのは「自分なりの目標、目指すものは何なのか」ということです。



「FUI」の学校と学ぶか「何を学びたいか」

私が今福祉の道でこうして仕事ができているのはなぜだろうかと振り返ることも少なくありません。私がこの道に興味を持ったのは、「24時間テレビ」を見たことがきっかけに「障がい福祉」の分野に興味を湧き、進学する大学を探したことです。

今福祉を学びたいという人たちの「動機」はいろいろなものがあると思いますし、周りを見渡せば福祉を学べる大学は以前に比較して選択肢は増えてきました。だから「そこ」の学校で学ぶか「何を学びたいか」という「問い」が大学に入ってから「学び」の質、更には自分の将来をも変えるのではないのでしょうか。

県外の学校を選んでよかったこと

今は経済的な負担を考えれば地元の学校を選択することは当然のことかもしれませんが、私が高校生のころは福祉を学べる学校が少なかったため、いろいろ悩んだ末に愛知の日本福祉大学を選んだわけです。

県外の学校を選んで良かったことは、「家族から離れて暮らす経験」ができたことです。これは親にとつても

自分にとつても「精神的な自立」みたいなのが形成されてとてもいい経験になったように感じます。

2つ目は、全国から集まった志の高い仲間と触れ合えたことでした。「なぜ日本福祉大を選んだのか？」という問いに対して、私が驚いたのは、「高い志」「情熱」を持っていた学生が多かったことです。そういう仲間と触れ合うことで自分自身の思いや意欲も振り返ることができたように思います。

障がいを持った仲間と共に学べたこと

実は私は障がい者と接した経験がありませんでした。障がい者と接したことがないのに障がい者に関わる仕事に就きたいと思いはじめたのです。今となつては恥ずかしい話ですが、特別支援学校の寄宿舎に実習に行つたとき、初めての食事介助で自分の方が気持ち悪くなつてしまったことがありました。今でこそ30年、障がい福祉の分野でこうして仕事をさせていただいています。頭で考えるのではなく経験も大事だと痛感した出来事でした。

日本福祉大学の特徴かもしれませんが、大学には障がいを持つ学生が多くいて、ゼミやサークル活動を通じて共に学ぶ仲間として付き合うことができます。このことも私にとつては「対等な関係」を築くとてもいい経験になりました。今では共に学んだ障がいを持つ仲間が障がい福祉分野で施設長を務めていることも少なくありません。

日本福祉大学を選んでよかったこと

一言でいうと、「善き仲間・先輩と出会つたこと」と「志・情熱というものの学んだこと」です。ささいなことかもしれませんが、社会に出たときに根気強く仕事に向き合う精神のようなものをつくつてくれたように思います。

「日本福祉大学」で学んだことを「誇り」

に思っている卒業生は数多くおり、今もそのバトンを渡し続けています。



山賀さん(写真左)
・巻高校出身 ・社会福祉学部卒
・新潟もぐら会 ポプラの家 施設長

2013年度 入試情報

各入試情報や願書受付会等の詳細は、下記の入試情報から検索！

日本福祉大学 入試情報

検索

■ 一般入学試験

	前期日程	後期日程
書類 出願期間 (消印有効)	【郵送】 1月4日(金)～25日(金) 【直接】願書受付会 1月26日(土)～28日(月)	【郵送】 2月18日(月)～3月1日(金) 【直接】願書受付会 3月2日(土)～4日(月)
試験日	2月3日(日)・4日(月)・5日(火)	3月9日(土)
合格発表	2月16日(土)	3月16日(土)

■ スポーツ推薦入学試験(一般・指定種目) 文化・芸術系部活動など推薦入学試験

後期日程	書類出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表
	2月12日(火)～19日(火)	2月24日(日)	3月1日(金)

※スポーツ推薦入学試験(指定種目)の試験日は、各サークル指定日となります。

■ 大学入試センター試験利用入学試験

	前期日程	後期日程
書類 出願期間 (消印有効)	《全学部出願型》 2012年12月26日(水)～ 2013年1月18日(金) 《5教科・3教科・2教科》 1月4日(金)～2月1日(金)	《2教科》 2月18日(月)～ 3月4日(月)
合格発表	2月16日(土)	3月16日(土)

- 入学試験の内容については、再度「入試ガイド2013」、「入学試験要項」で必ずご確認下さい。
- 入学試験に関してのご質問は、入学広報部または富山オフィス、松本オフィスまでお問い合わせ下さい。日本福祉大学入学広報部：0569-87-2212

◆ 日本福祉大学 新潟県地域同窓会

〒950-0323 新潟市江南区嘉瀬1047-2 ポプラの家
TEL(025)280-3394 / FAX(025)280-4374

◆ 日本福祉大学 北信越ブロックセンター 富山オフィス

〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3 CiC (シック) 2階
TEL (076)431-2027 / FAX(076)431-2028

◆ 日本福祉大学 北信越ブロックセンター 松本オフィス

〒390-0815 長野県松本市深志1-1-24 中村不動産ビル3階
TEL (0263)31-9011 / FAX(0263)32-8018

◆ 「経済援助学費減免奨学生」募集のご案内

経済援助学費減免奨学金制度とは、「大学で何がしたいか」という「目的意識」「やる気」を評価し、家庭状況や居住地(過疎地であることなど)を勘案しつつ、支援を入学前に決定するものです。募集要項、申請書は大学HPよりダウンロードできます。

その他、詳細につきましては、入学広報部までお問い合わせ下さい。